

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

| | |
|------|----------------|
| 事業所名 | じんぐう |
| 住 所 | 名古屋市熱田区伝馬1-2-6 |
| 電話番号 | 052-684-5888 |

| | |
|-------|------------|
| 事業所番号 | 2311100412 |
| 管理者名 | 鈴木 八重子 |
| 対象年度 | 令和2年度 |

地域連携活動の概要

| | |
|--|---|
| <p><活動内容></p> <p>愛知電線株式会社 名古屋市熱田区八番二丁目17番9号 週5日 1日あたり4時間～5時間 VVFケーブルの小巻製造業務 4名～5名</p> | <p><活動の様子></p>  <p>小巻製造装置 利用者1名に対して 1台用意して 生産している。</p> |
| <p><目的></p> <p>収益をあげることと、利用者との事業マッチングをおこなうことでより効率的な作業と時間延長をおこない給与UPにつなげることと、地元企業との関係づくりをおこないたい。</p> |  <p>全自動の機械</p> <p>生産数を毎月調整して活動をおこなっている。</p> |
| <p><成果></p> <p>同じ熱田区内において、障害者雇用の検討や業務提携を検討していた抱いている企業との連携により、作業内容が本社業務では不一致であったスタッフが長期的に働けるようになった。また、賃金の向上も見込めることになった。</p> |  <p>製造した完成品</p> <p>毎月の作業目標や生産目標を検討して対応することでより成果のある業務です。</p>  <p>感謝状の贈呈</p> |

連携先の企業等の意見または評価

始めは、なかなか生産量が月間の販売数量を常に担保できるかの不安と工場内での稼働する際にお互いのリスクを考えると慎重になることが多かった。機械の改良と環境の整備によって半年かけて作業内容と環境を安定的に稼働できるようになっていった。企業としては、ともに生産性を挙げていき、作業の種類を増やしてより売り上げを一緒に挙げていくことができると考えている。お互いの状況を理解しながら、関係づくりを継続していきたい。

将来的に直接雇用できると良いともお話をいただいている。

| | | | |
|--------|----------|------|-------|
| 連携先企業名 | 愛知電線株式会社 | 担当者名 | 前田 将行 |
|--------|----------|------|-------|